物件番号２６

清涼飲料用自動販売機設置に係る仕様書

１　貸付場所及び貸付面積

物件番号	施設名称	所在地	貸付箇所	貸付面積	台数
２６	道の駅めぬま	熊谷市 弥藤吾 720	屋外自動販売機コーナー⑹	１．０２㎡	１台

※　貸付面積には、放熱余地・回収ボックス等の設置部分を含む。

２　貸付期間

令和８年４月１日から令和１１年３月３１日まで（更新なし）

３　設置する自動販売機の規格及び設置者の遵守事項

⑴　大きさ、デザイン及び決済方法

ア　大きさ

おおむね幅 1,000 ㎜×奥行 850 ㎜×高さ 2,000 ㎜以内とする。

イ　デザイン

周辺環境に配慮し、著しく華美なものでないこと。

ユニバーサルデザイン(低い位置に設置された商品選択ボタン、できる限りかがまずに商品を取り出せる取出口など、年齢や性別、障がいの有無等を問わず、誰にでも使いやすいよう工夫された機器)の自動販売機とすること。

ウ　決済方法

最新の紙幣及び硬貨に対応した機種を設置すること。また、キャッシュレス(クレジットカード､流通系電子マネー､交通系電子マネー)で支払いができること。

⑵　環境対策

ア　省エネルギー

「照明の自動点滅･減光」、いわゆる「学習省エネ」及び「ピークカット」並びに「真空断熱材やヒートポンプ採用」など、消費電力量の低減に資する技術等を導入した機種とする。

イ　ノンフロン冷媒

地球温暖化係数（GWP)の低い、二酸化炭素又は炭化水素等を冷媒として採用した機種とする。

⑶　安全対策

ア　転倒防止

「自動販売機の据付基準」（JIS 規格）及び「自動販売機据付基準マニュアル」（日本自動販売システム機械工業会作成）を遵守した措置を講じること。

イ　食品衛生

「食品、添加物等の規格基準」（食品衛生法）及び「自動販売機の食品衛生に関する自主的取扱要領」（業界自主基準）等を遵守し、販売商品の衛生管理に万全を尽くすものとする。また、商品販売に必要な営業許可を受けなければならない。

ウ　防　　犯

硬貨選別装置及び紙幣識別装置のプログラム改変により、偽造通貨又は偽造紙幣の使用による犯罪の防止に万全を尽くすものとする。また、屋内設置であっても「自販機堅牢化基準」（日本自動販売システム機械工業会作成）を遵守し、犯罪防止に努めるものとする。

⑷　使用済み容器の回収

屋外自動販売機コーナーに設置してある回収ボックスの使用済み容器の回収については、施設管理者が行う。

⑸　自動販売機の設置及び管理運営

ア　設置者において、商品の補充及び変更、消費期限の確認、売上金の回収及び釣銭の補充並びに自動販売機内部・外部及び設置場所周辺の清掃などを行うこと。

イ　設置者において、随時自動販売機の保守を行うほか、故障や問合せについての連絡先を明記し、設置者の責任において即時対応すること。

4　販売商品の種類等

⑴　種類

酒類を除く清涼飲料全般とし、容器は缶、ペットボトル等を使用すること。

⑵　価格

標準販売価格より高く販売しないこと。

5　電気料

電気料は設置者の負担とし、子メーターの検針により使用した電気量に基づき各施設管理者が算定した電気料を、市が発行する納入通知書により市が指定する期日までに納入する。

6　貸付料

年額の貸付料は、賃貸借料提案書に記載された金額とする。

７　費用負担

自動販売機の設置、維持管理及び撤去に係る費用は、設置者が負担する。

８　設置箇所の条件及び特記事項

⑴　缶、ペットボトル等の容器を使用する清涼飲料を販売する自動販売機であること。

⑵　自動販売機の土台は、地震等で強い揺れが発生した際、前方へ倒れないよう措置されたものであること。

⑶　使用済み容器の回収用として、９０リットルの透明のゴミ袋（厚くて破れにくい袋）２００枚を自動販売機設置者の負担により用意し、毎年４月末日までに施設管理者に引き渡すこと。

⑷　屋外自動販売機コーナーの既設電源から自動販売機までの電気の接続工事等は自動販売機設置者の負担とする。

⑸　子メーターを自動販売機設置者の負担により設置すること。

⑹　めぬまアグリパークの自家用電気工作物の定期点検及び消防用設備等点検による停電時には、自動販売機も稼働停止になることを了承すること。

⑺　風水害等により災害が発生し、又は発生するおそれがある場合で、市の災害対策本部が設置され、避難所に多数の住民が避難し、自動販売機内の清涼飲料を無料で提供する必要があると市が判断したときは、市へ事前に預けた鍵等を用いて、自動販売機内の全ての在庫品を無償で市に提供すること。

９　貸付場所の返還

契約の解除等により自動販売機を撤去する場合は、原状に回復して熊谷市の確認を受けなければならない。

10　自動販売機設置に伴う事故

熊谷市の責に帰する事由による場合を除き、設置事業者がその責を負う。

11　商品等の盗難及び破損

⑴　熊谷市の責に帰することが明らかな場合を除き、熊谷市はその責を負わない。

⑵　設置者は、商品及び自動販売機が汚損又は毀損したときは、自らの負担により速やかに復旧しなければならない。

12　参考データ

⑴　自動販売機の年間売上本数

設置場所	種別	１年間の売上本数 （R6.10～R7.9）	備　考
屋外自動販売機 コーナー⑹	缶・ﾍﾟｯﾄﾎﾞﾄﾙ 等	５，４６６杯	

⑵　施設利用者及び職員数

ア　道の駅めぬま施設利用者　延べ　約４６５，０００人
　　年間開所日　３６５日／年

イ　めぬまアグリパーク内地域振興施設「めぬぱる」
　　年間開館日　３４８日／年
　　年間利用者　延べ　約１２３，０００人